

労働者死傷病報告

記載例

様式第23号(第97条関係) (表面)

労働保険番号(建設業の元請に依存する下請人の労働者が被災した場合、元請人の労働保険番号を記入すること。) (元請会社の労働保険番号)										事業の種類	
81001 131011234561231234										建設事業	
事業場の名称(建設業にあつては工事名を併記のこと。)											
カナ ロウ ドウ ケン セ ツ コ ウ ギ ヨ ウ カ ブ シ キ ガ イ シ ヤ											
漢字 労働建設工業株式会社											
(被災者の所属会社)											
工事名											
霞ヶ関人道橋建設工事											
職員記入欄											
派遣先の事業の労働保険番号										派遣労働者が被災した場合は、派遣先の事業場の郵便番号	
東京都府県 所管 管轄 基幹番号 枝番号 第一括事業場番号										〒 -	
事業場の所在地 (被災者の所属会社の事務所の所在地)				構内下請事業の場合は親事業場の名称、建設業の場合は元方事業場の名称				派遣労働者が被災した場合は、派遣先の事業場の名称			
東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇				労働組株式会社 (元請会社)				提出事業者の区分			
郵便番号				労働者数				発生日時(時間は24時間表記とすること。)			
100-〇〇〇〇				100人				7:平成 9010801 1530			
被災労働者の氏名(姓と名の間は1文字空けること。)											
カナ ロウ ドウ イ チ ロウ											
漢字 労働一郎											
休業見込期間又は死亡日時(死亡の場合は死亡欄に〇)			傷病名			傷病部位			被災地の場所		
休業見込 3 〇 〇			骨折			胸骨、右肩甲骨			(被災現場の所在地) 霞ヶ関		
災害発生状況及び原因						略図(発生時の状況を図示すること。)					
①どのような場所で ②どのような作業をしているときに ③どのような物又は環境に ④どのような不安全な又は有害な状態があつて ⑤どのような災害が発生したかを詳細に記入すること。						仮縮切鋼矢板					
投入した埋め戻し土砂をバックホウで敷均し中に、土砂を前方に押し込んだ反動でバックホウの機体が持ち上がり、梁とバックホウの走行レバーの間に胸部が挟まれ負傷した。											
【原因】						鋼矢板の角に土砂を押し込もうとしている。					
・作業が容易にできるスペースが確保されていないかった。						土砂を押し込めず、反動で機体が持ち上がり、被災。					
・重機の稼働範囲を極力確保するため、保安設備のない機械を選定した。											
労働者が外国人である場合のみ記入すること。 国籍・地域 在留資格						国籍・地域コード 在留資格コード					
() ()						() ()					
報告書作成者 職氏名 安全管理者 厚生太郎						職員記入欄					
						起因物 店社コード 業種分類					
						事故の型 発注者種類 事業場等区分 業務上疾病					
						1:該当 2:非該当					

令和元年 8月 3日

(被災者の所属会社)

事業者職氏名 労働建設工業株式会社

代表取締役 安全専一

中央 労働基準監督署長殿

受付印